

評価計画					自己評価					学校関係者評価 コメント	改善方策
中期経営目標 (めざす児童生徒像)	短期経営目標 (めざす児童生徒像)	目標達成のための 方策	評価項目・指標	目標値	中間 9月	最終 2月	達成 率	評 価	結果と課題の分析		
基本的な生活習慣を身に付けさせながら、バランスある安定した心身の成長を図る	「早寝」「早起き」「挨拶」の生活習慣を身につける。 (基本的生活習慣)	毎月1週間の生活リズムチェックの実施	年少：早寝・早起き・あいさつの生活習慣の定着 年中：早寝・早起き・あいさつの生活習慣の定着 年長：早寝・早起き・あいさつの生活習慣の定着	86% 100% 100%	早寝91% 早起き76% あいさつ50% 72% 早寝80% 早起き80% あいさつ80% 80% 早寝74% 早起き83% あいさつ96% 84%		84% 80% 84%	B B B	・早寝・早起きの習慣は、ほぼ定着している家庭が多い。引き続き呼び掛けていく。 ・朝のあいさつは、相手を見て名前を呼んで大きな声で元気よくできる子が増えている。	・挨拶は年長細いお手本となって、年少も名前を呼んで大きな声で元気よくできる子が増えてきた。 ・ゲストティーチャーさんのことをよく覚えて、挨拶して声をかけてくれる。	引き続き、お便りや懇談会等で生活リズムの大切さについて知らせ、保護者の皆様にも子どもさんのサポートをしていただく。
	身体を十分に動かして遊んでいるながら、身体の統合感覚を養う。 (運動遊び)	運動発達のめやす表の項目を意識した活動の取組	年少：三輪車をこぐ・平均台横歩き・両足跳び(6回)・鉄棒の技「つばめ」ができる。 年中：鉄棒前回り・竹ぼうくり・ボール運動(投げ、受ける、転がす、蹴る)・大縄跳び10回ができる。 年長：竹馬・逆上がり・短縄跳び(前跳び連続10回)ができる。	100% 100% 86%	三輪車100% 平均台100% 100% 竹ぼうくり100% 鉄棒100% 100% 竹馬100% 逆上100% 100%		100% 100% 116%	A A A	・個人差に配慮しながら、あきらめずに挑戦できる環境を整えてきた。頑張る姿をみんなで見守り、励まし合い認め合いながら取組み、達成した喜びを共有してきた。 ・運動会のサーキット競技に組み込み、計画的継続的に取り組んできた。	・運動会での頑張りがすばらしかった。 ・できたことをみんなで喜び合い、達成感を共有できるのがよい。 ・小学校で幼稚園を卒園した子が、竹馬を頑張ったことが、一番に残っていると発言していた。	これからも計画的・継続的に取組み、みんなが達成感を共有できるようにする。
	自主的な身支度・身辺整理の力を養う (身支度・身辺整理)	登降園時の重点指導と個別指導 (身の回り)	年少：援助を受けながら、身の回りのことや片付けをしようとする 年中：身支度や身辺整理の必要性や手順を理解して、自分から進んで行う。 年長：ロッカーの中を整理整頓する。使ったものを丁寧に片付ける。	86% 100% 100%	身の回り 71%片付け71% 71% 身支度100%身辺整理60% 80% 整理整頓・片付け88% 88%		83% 80% 88%	B B B	・固定化しているため、個に応じた声掛けが必要である。 ・年長組は定期的に片付ける時間を設定することにより、片付けの意識が高まってきている。	・家庭でもなかなかできないことが多いが、みんなで取り組むことにより、片付けることを意識させて欲しい。	視覚支援等で個に応じた手立てをしていくとともに、クラス全体で、整頓する日を設け、みんなで確認していく。
体験活動を充実させて豊かな感性を養う	他の人と親しみ、自分で考え行動し、人と関わる力を育む。 (人間関係)	行事や遊びを通して人と関わる場面を設定する。	年少：保育者や友達に親しみを持ち、安心してすごしながら集団生活のきまりを守って生活する。 年中：友達と一緒に集団遊びを楽しむ中でルールの大切さに気づき、相手の良さを認めたり気持ちに気付いたりする。 年長：集団生活のルールを守り、自分の気持ちや考えを表現しながら、友だちの思いも理解しようとする。	86% 100% 100%	71% 60% 63%		83% 60% 63%	B C C	・行事を成功させるという目標に向かって、みんなで取り組むときは、いろんな意見やアイデアを出しながら、協力して取り組むことができる。 ・自由遊びの時などに、相手のことを考えないで、自分の意見を押し通そうとすることがある。	・お互いを認め合ったり助け合ったり、子どもたちは、優しい気持ちで、友だちと接することができている。この素直な時期にたくさんほめて、よいことを吸収して欲しい。	・トラブルが起きたときは、両者の意見を聞きながら、お互いに考えさせるように仲介する。 ・他者と関わる場面を多く設定し、自分で考えさせながら人と関わる力を身につけさせていく。
	コミュニケーション力を育む。 (聞く・話す)	様々な活動や行事の場で最後まで落ち着いて話を聞いたり、自分の思いを話したりする。	年少：話を静かに聞く。友だちや保育者に経験したことを話す。 年中：話を聞く大切だがわかり良い態度で聞く。みんな前で自分の思いや感じたことを言葉で伝える。 年長：経験したことや感じたことを自分の言葉で伝える。話している人を見て、最後まで話を聞く。	86% 100% 100%	聞く57% 話す57% 57% 聞く60% 話す60% 60% 聞く75% 話す75% 75%		66% 60% 75%	C C C	・行事や集会等において黙って静かに話を聞くことはできる。指示を聞いて行動する場面において、話を最後まで聞かないで失敗することがある。 ・自分の言葉で思いを伝えたり、相手の話を聞いて気持ちを受け止めることは、まだ不十分である。	・理由を付け加えて感想を発表させること、言葉に詰まった時すぐにフォローするのではなく発表するまで待つことが大切だと感じた。	・失敗をもとに、話を最後まで聞くことの大切さを繰り返し理解させる。 しっかりと聞こうとする姿を褒め、全体で話を聞く態度を育てていく。自分の思いを発表できる機会を増やしていく。

「目標値」に対する「達成度」をA~Dで評価する。 達成度 A (100%以上) B (80%~100%未満) C (60%~80%未満) D (60%未満)